

令和 7 年度 事務事業マネジメントシート		段階： 令和 6 年度実施事業に係る事務事業評価						避難案内看板設置事業				建設構想部	河川課
1 事業概要		中事業番号		1015								所属コード	304000
政策体系		SDGs	広域事業	総合戦略	セーフ	2025	2030	2040	2050	D X 推進	手段	意図（目的）	
大綱（取組）	V「暮らしやすいまちの未来」	11.5 11.b 13.1		4-1							近年の災害状況等を踏まえ、郡山市浸水ハザードマップに基づき、避難案内板の設置を進めることで、市民が水害時に適切な避難ができるようにする。	有事の際に、だれもが安全かつ円滑に避難所へ移動するための案内看板設置の要望が多く、また、案内看板を設置することで、平時から避難所に関する情報に触れ、住民の防災意識は高まっている。	
施策	2誰もが安心して快適に暮らせるまち												

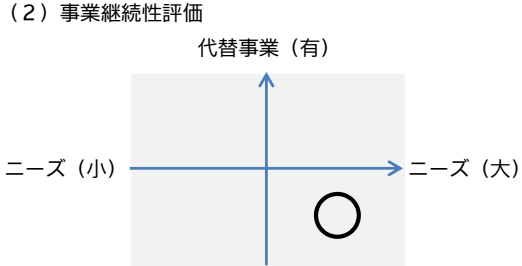
事業開始時周辺環境（背景）	現状周辺環境	今後周辺環境（予測）	住民意向分析
水害時や近年多発する土砂災害時の迅速な避難行動のため避難情報等をわかりやすく表示する必要が生じた。	令和 2 年 4 月の「洪水ハザードマップ」改訂により、浸水想定区域が見直され洪水発生時の避難計画が変更された。	気候変動の影響などにより、自然災害が一層頻発化・激化する中、事前の防災体制の構築と明確な情報伝達のため、避難案内看板の整備が不可欠である。	市民の防災意識の向上に伴い、浸水想定区域や避難所などの情報を表示した「洪水ハザードマップ」への関心も高まり、洪水発生時における円滑かつ迅速な避難を確保するため、避難案内看板の整備が求められている。

2 事業進捗等（指標等推移）			まちづくり基本指針五次実施計画		まちづくり基本指針六次実施計画		まちづくり基本指針七次実施計画		まちづくり基本指針八次実施計画		次期実施計画		次期実施計画		まちづくり基本指針	
指標名	指標名	単位	2022年度（令和 4 年度）		2023年度（令和 5 年度）		2024年度（令和 6 年度）		2025年度（令和 7 年度）		2026年度（令和 8 年度）		2027年度		中間指標	最終指標
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	計画	2021年度	2025年度
対象指標	看板設置計画数	箇所		240		240		240								
活動指標①	避難案内看板の設置数（単年度）	基	10	12	10	0	20	15	20		14					
活動指標②	避難案内看板表示変更数	箇所	5	11	15	35	15	2	0							
活動指標③																
成果指標①	避難案内看板の整備率	%	73	64	74	79	92	86	94		100				93	100
成果指標②	避難案内看板の設置数（累計）	基	135	154	179	189	214	206	226		240				126	240
成果指標③																
単位コスト（総コストから算出）	当該年度に整備した避難案内板 1 基あたりのコスト	千円		353		0		349								
単位コスト（所要一般財源から算出）	当該年度に整備した避難案内板表示変更 1 基あたりのコスト	千円		176		211		259								
事業費		千円		4,912		5,960		5,753	8,000		6,000					
人件費		千円		1,380		1,410		2,291	1,380		1,380					
歳出計（総事業費）		千円		6,292		7,370		8,044	6,000		7,380		0	0		
国・県支出金		千円														
市債		千円														
受益者負担金（使用料、負担金等）		千円														
その他		千円														
一般財源等		千円		6,292		7,370		8,044	6,000		7,380		0	0		
歳入計		千円		6,292		7,370		8,044	6,000		7,380		0	0		
		実計区分	評価結果	継続	継続	継続	継続	継続		継続						

活動指標分析結果	成果指標分析結果	総事業費（事業費・人件費）分析結果
新規案内看板の 1 基あたりの整備コストが資材高騰のために増加したことから、当初計画した 2 0 箇所中、 1 5 箇所の設置を行った。 また、避難案内看板表示変更（板面修正）は、前年度の残り 2 箇所の整備を行った。	計画目標に達していないが、避難案内看板表示変更は完了し、整備率及び整備枚数（累計）は増加し、進捗は上がっている。	【事業費】 単位コストを下げる取り組みの見直しを行ったため、設置事業費は減少したが、資材高騰により表示変更の1基当たりの単位コストは増加した。 【人件費】 設置箇所の地元調整・管理者協議に時間を要したため増加した。

3 一次評価（部局内評価）

(1) 事業手法評価		
1 規模・方法の妥当性		4
2 公平性		4
3 効率性		3
4 活動指標（活動達成度）		4
5 成果指標（目的達成度）		4



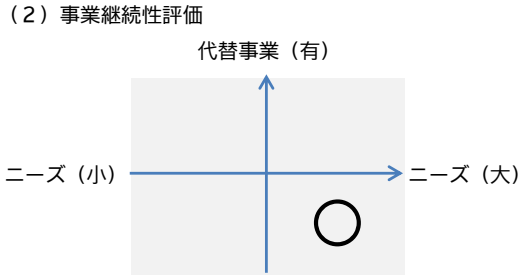
継続	一次評価コメント
設置箇所の減少により活動指標は下がる形となったが、避難案内看板表示変更の完了により、成果指標は伸ばすことができた。 次年度以降も、新規の案内看板について今年度行った調査を生かし、地元住民の意見を聞きながら事業を進めていく。	

5レス	カウンターレス	キャッシュレス	ペーパーレス	ファイルレス	ムーブレス（会議レス）

気候変動対応	D X（デジタル市役所）	部局間協奏
○		○

4 二次評価

(1) 事業手法評価		
1 規模・方法の妥当性		3
2 公平性		4
3 効率性		3
4 活動指標（活動達成度）		2
5 成果指標（目的達成度）		4



継続	二次評価コメント
令和 6 年度は、避難案内看板を新規で15基設置した。資材高騰により計画通りの設置には至らなかったものの、設置箇所の見直し等を行うことで、効率的な実施に努めたところである。 また、多言語表記などの表示変更については 2 箇所実施したことにより、看板表示変更を計画していた全てが、令和 6 年度で完了した。 気候変動により、水害等が頻繁に発生する中、市民の安全かつ円滑な避難に向けた適切な誘導を図るため継続して事業を実施する。 なお、実施に当たっては、引き続き防災危機管理課と連携を図り、看板設置箇所の重複等がないよう進めていく必要がある。	

(参考) 令和 6 年度カイゼンのための行動計画